

## 人間に寄生するシラミ類の発生状況について

衛生動物室 岸 本 高 男  
比 嘉 ヨシ子  
下謝名 和 子

人間に寄生するシラミ類には2種類あり、一般にケジラミは陰毛部に、ヒトジラミは頭髪や衣類に寄生する。しかし検査のために提出される材料がシラミ類の成虫であると同定することは容易であるが、医療機関から依頼される材料は卵や各期の幼虫などの小数個体であったりして、種の同定が困難な場合が多い。

筆者らは1976年以降多発傾向にあるヒトジラミの集団発生と頭髪寄生のケジラミについて調べ、両種の卵、各期幼虫での区別法を把握したので報告する。

### 材料と方法

1. ヒトジラミはおもに集団発生時に得たもの、ケジラミは検査のために来所した被検者から直接採集した個体を使った。
2. 得られたシラミ類は70%アルコール液浸標本にして保存し、外部の計測を行ない、徹細な観察はカナダバルサムで封入した後に行なった。

### 結 果

#### 1. シラミ類の発生事例

##### a) ヒトジラミの集団発生

1960年代にフィラリア採血のため国頭村へ行った際、ヒトジラミの頭髪寄生者をたまたまみつけることがあったが、それ以降は標本の入手もむづかしい程、ヒトジラミの寄生者は少なかった。1976年7月に那覇市内から検体が持ち込まれるようになり、12月には本島南部の保

育所でも散発的に発生したので、その対策について県予防課、環境衛生課、公害衛研の間で話し合いが持たれた。ところが、有機塩素系殺虫剤が使用禁止になって以来、人体に使用してもよい殺虫剤がない現況をふまえて、当面は洗髪やスキ櫛によるシラミの除去など個人衛生的な面から行政指導するという結論に達した。

1978年5月には子供の頭髪に虫の卵があると家族4人で来所。2才の男児と母親より多数の卵を採集した。卵は両側頭部と後頭部に集中的に産みつけられていて、2才児の頭には掻いた跡がみられたが、成虫は採集できなかった。その後、衛研に連絡があった事例だけでも保育園、小学校、施設など9ヶ所で集団発生がみられた(表1)。

##### b) ケジラミの頭髪寄生例

ケジラミが陰毛に寄生すると、掻痒感が著しいと言われているが、今回の事例では、成虫がみつかればケジラミと同定されるまでは本人も気がつかず、あまり痒みもなかったようである。被検者(表IのNo.8)は那覇市内に住む20代の青年で妻、子の三人家族。工作中、頭髪にむず痒い感じがして指先でつまむと、白い虫がとれたので、那覇保健の紹介で来所した。同定の結果はケジラミの末吸血個体、雄成虫であった。

被検者によると、ケジラミと言われ急に掻痒感がしたので、陰毛と足の毛を削り、頭髪には市販のエアゾール系の殺虫剤を撒布後、洗髪したとのこと。翌6月20日に数個体採集したと標本を持参したので、詳しく頭部を調べてみると、

表I シラミ類の発生状況

ケジラミ										
No.	年月日	被検者(年齢)	市町村	寄生部位	掻痒感	令 期				成
						卵	1	2	3	
1	1970.1.20	中学生(男子)	那覇市	眉毛	有	19				2
2	1973.4.24	女性(30代)	石川	陰毛	"					2
3	1974.2.20	男性(20代)		"	"	3			2	8
4	1974.3.9	"	那覇市	"	"	1	2			2
5	1976.10.15	"(20代)		"	"				1	6
6	1977.6.29	"(38才)	那覇市	"	"				4	18
7	1978.6.16	女性(3才)	沖縄市	頭髮	無					3
8	1978.6.20	男性(20代)	那覇市	"	"	多数	2	6	2	7
9	5.10	女性(6才)	"	"	有	3		1		2
10	1978.10.6	"(18才)	八重山・石垣	睫毛	"	4				2
ヒトジラミ										
11	1974.8.15		沖縄市	頭髮	無	4		1		
12	1974.	男児(3才)	"	"						2
13	1978.5.11	"( )	那覇市	"	有	多数				
14	1978.8.29	女児(4~5才)	与那原町	"		多数				
15	1978.9.2		"	"					6	4
16	1978.10.4	女児 (3.7.10才)	"	"		112	34	10	6	6
17	1978.10.6	小学生	石川市	"		7		1	1	2
18	1978.10.11	男・女(5才)	那覇市	"		17		1		2
19	1978.11.2	"(2才)	"	"		多数				
20	1978.12.2	小学生		"						
21	1978.12.16	保育園(3才)		"		多数				
22	1978.12.16	小学生		"		"				

卵のみ両側頭部の毛に集中して見つかった。卵は毛髪の中央附近や先端に多く、毛根には少なかった。ところが、被検者の希望により散髪した後、毛根部を調べてみると、頭皮にへばりつくようにして毛根にしがみついていたケジラミ16個体を採集することができた。ケジラミの多数寄生にもかかわらず搔痒感がなかった事例として紹介する。

#### c) ケジラミの眉毛及び睫毛寄生例

被検者は那覇市内の某中学の男生徒で、眉毛に虫がいたと養護教諭と共に来所。採集部位を調べてみると、卵19個体、成虫2個体を得た。また、八重山石垣市では19才の女性が眼が痛いと眼科医院を訪れ、診察はシラミ寄生だとして保健所に紹介されている。

八重山保健所では睫毛から卵4個体、成虫2個体を採集した。両事例とも陰毛には異状がないとの話しかからすると、雌ケジラミが受精後に眉毛や睫毛に寄生し産卵したものと推定する。感染経路については不明であった。

#### d) ケジラミの家族内感染

子供の頭髪から採集した3個体の成虫を持って母親と被検者(2才の女兒)がコザ保健所を訪れる。同定結果はケジラミであった。その後、沖縄市の駐在保健婦に依頼し、被検者と同居している家族全員の頭髪と陰毛の異状について調べてもらった。祖父が5年程前から腋部にケジラミが寄生し、かつて水銀軟骨を使った経験があり、今回の頭髪寄生例は祖父から感染したものと推定された。

#### e) シラミの寄生部位と搔痒感

ケジラミが陰毛、眉毛、まつ毛、腋毛に寄生すると、はげしい搔痒感を伴い精神的にも不快であると訴える被検者が多い(表1)のに対し頭髪に寄生した時は本人も気づかないようであった。また、ヒトジラミが頭髪に寄生すると、搔痒感は個人差があるようで、特に集団発生の時には、被検者が訴えるのではなく、家族や学校

などで卵を見つける場合が多かった、被検者の家族を再検査することによって新しく寄生者を見つけることもあった。

## 2. ヒトジラミとケジラミの鑑別法

### a) 卵:

個体間に差が大きく、計測で両種を区別するのは難しい。卵の上にあるイボ状の卵蓋(Operculum)がヒトジラミ卵では平たく、ケジラミ卵では丸くふくらむ(図1)、また卵内の胚子が発育したものでは、爪の形によって区別できる。すなわち、ヒトジラミでは前、中、後脚の爪は同形同大であるのに対し、ケジラミでは前脚の爪はヒトジラミとほぼ同じであるが、中、後脚は太い(図1)。

### b) 触角:

両種とも1~3令までは3環節であるが、成虫になると5環節になり、令期が進むにつれて長くなる。特にケジラミでは1令期と成虫では差が著しく、剛毛もよく発達している。図3に掲げた触角の長さや図4の腹部の発達度合を参考にすると令期の決定ができる。

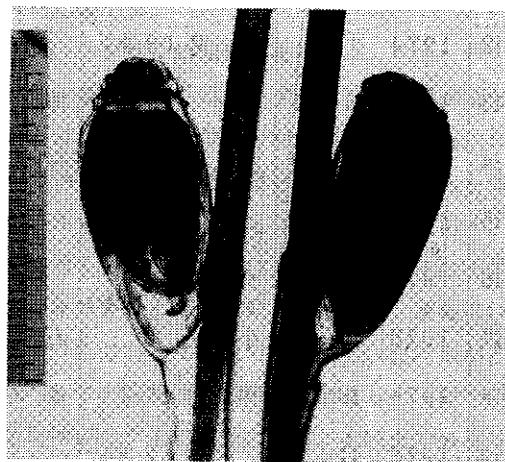


図1 ケジラミ(左)とヒトジラミ(右)の卵  
卵内の胚子が発育し爪が見える、ケジラミでは太く、ヒトジラミでは細い。

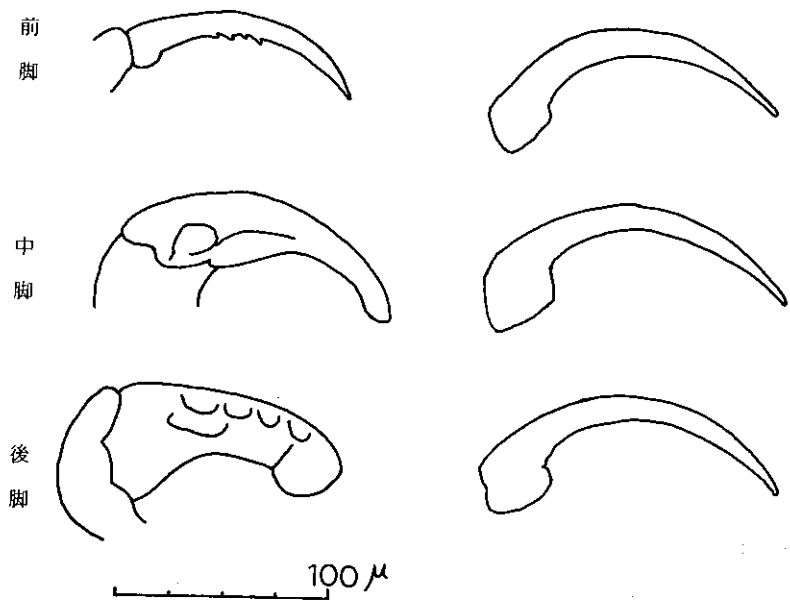


図2 ケジラミ (左) とヒトジラミの爪、1令幼虫

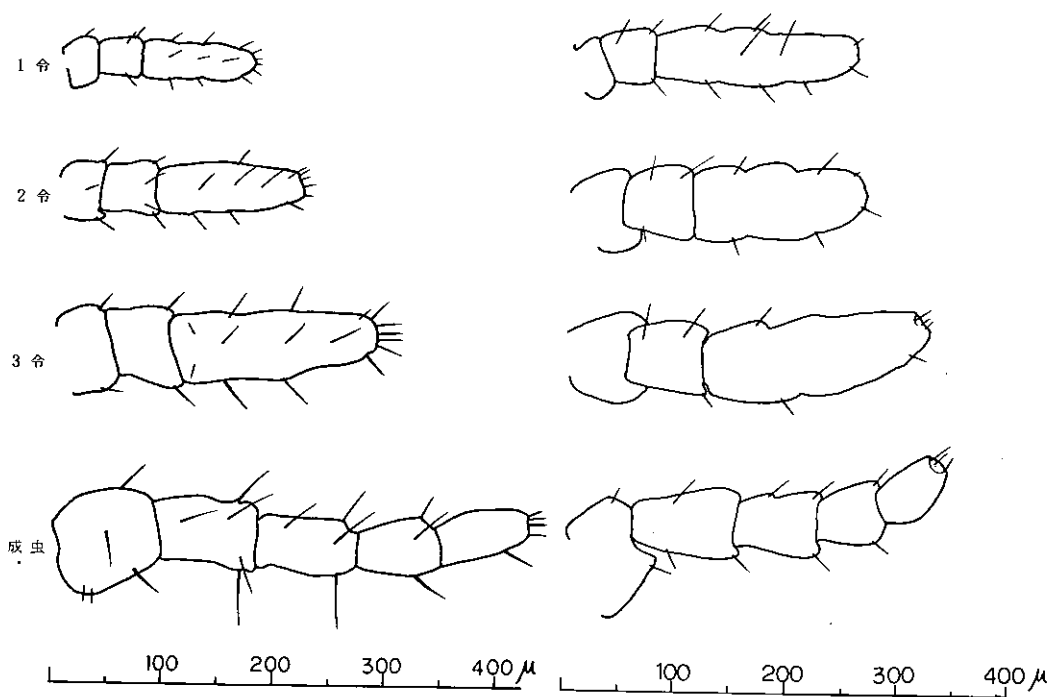


図3 ケジラミ (左) とヒトジラミの触角

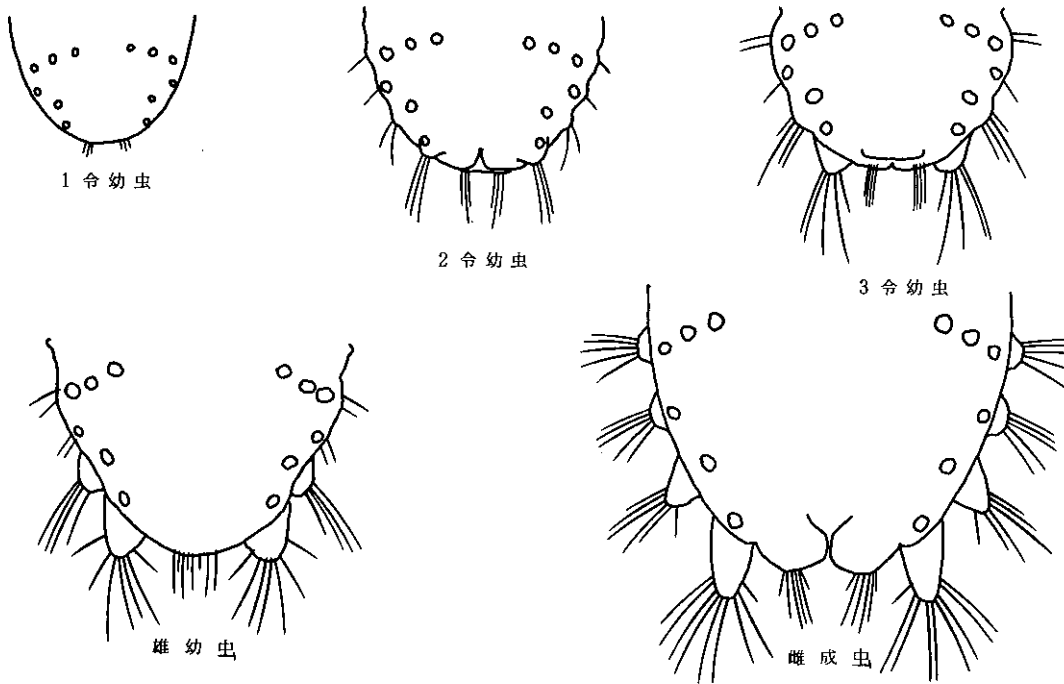


図4 ケジラミの腹部

#### まとめ

1976年以降、多発傾向にあるヒトジラミの集団発生状況及びケジラミの頭髪寄生例を紹介した。

1) ヒトジラミが頭髪に寄生した時、掻痒感には個人差が大きい。したがって被検者が訴える前に周囲の人がみつける場合が多かった。

2) ケジラミが陰毛に寄生すると、はげしい掻痒感があるのに対し、頭髪寄生では被検者も気づかなかった。

3) 人間寄生のシラミ類を卵で区別すると、ケジラミでは卵蓋が丸くふくらみ、ヒトジラミの卵蓋は平たい。また、卵内の胚子が発育すると、爪の形で両種の区別ができる。

4) 令期は触角の環節数や計測値でも判定ができる。

稿を終るにあたり、材料を提供していただいた八重山保健所の与那原孫伝衛生課長と那覇保健所の当真正和氏に感謝致します。

#### 文献

1. Faust E.C. and P.F. Russell (1957) Clinical Parasitology (6th Ed.) p 764-768, Philadelphia. U.S.A
2. 素木得一(1958)、衛生昆虫p105-114, 北隆館、東京